

2024年10月25日

相鉄新横浜線 新横浜駅の南改札窓口（相鉄側）に 10月25日（金）、「字幕表示システム」を設置 駅をご利用のお客さまと駅係員のコミュニケーションをより円滑に

相模鉄道株式会社
京セラドキュメントソリューションズジャパン株式会社

相鉄グループの相模鉄道㈱（本社・横浜市西区、社長・千原 広司）と京セラドキュメントソリューションズジャパン㈱（本社・大阪市中央区、社長・長井 孝）は、2024年10月25日（金）に、相鉄新横浜線 新横浜駅（南改札 有人窓口 相鉄側）に字幕表示システム「Cotopat® ^{コトパット} ^{スクリーン} Screen」（以下、同システム）を設置し、同駅での使用を開始します。なお、同システムを鉄道駅に設置するのは、首都圏エリアとして、初となります。

これは、訪日外国人をはじめ、駅をご利用いただくお客さまへのサービスレベル向上や快適性向上を目的に導入するサービスです。今回設置する新横浜駅は、東海道・山陽新幹線の乗換駅であり訪日外国人の利用も多いことから、同システムを導入することで、お客さまと駅係員とのコミュニケーションの円滑化を図ります。

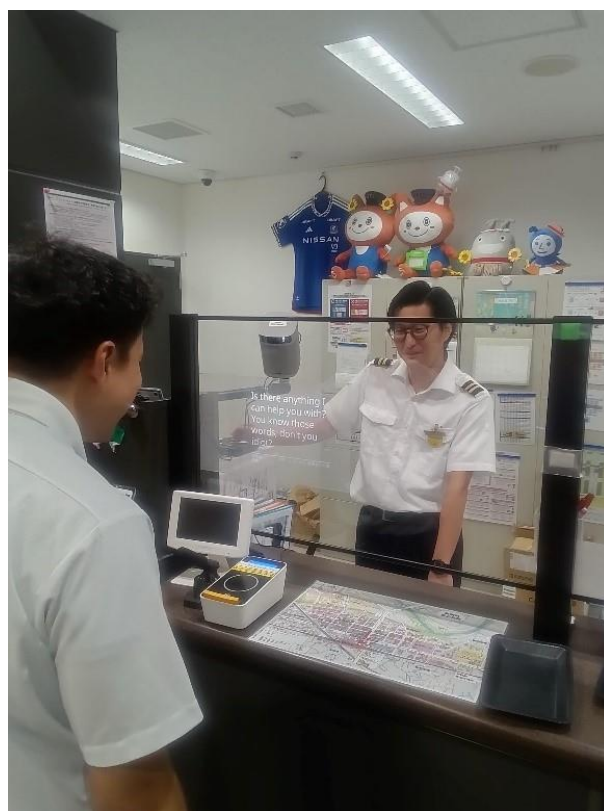
同システムは、英語、中国語、韓国語などをはじめ、7種類^{※1}（設定により日本語から外国語133種類^{※2}）の言語の翻訳表示が可能となっています。お客さまの会話を自動翻訳し、双方の発言内容をスクリーンに表示することで、スムーズな会話を実現します。また、リアルタイムでの字幕表示が可能のため、訪日外国人以外にも、聴覚障がいがある方とのスムーズなコミュニケーションが可能となります。

両社は、さまざまな場面で起こる「意思疎通が困難」という課題を解消し、言葉の壁を越えた円滑なコミュニケーションを提供することで、すべての人々が安心して暮らせる社会の実現に尽力してまいります。

概要は、別紙のとおりです。

※1 窓口の担当が手元のキーボードで言語変更できる種類数

※2 管理者モードより133種類（日本語除く）から7種類を選び設定が可能



新横浜駅に設置
「字幕表示システム」の利用イメージ

「字幕表示システム」の概要

1. 設置日

2024年10月25日（金）

2. 設置場所・稼働時間

○相鉄新横浜線 新横浜駅 南改札 有人窓口（相鉄側）

○初電から終電まで

3. 設置台数

1台

4. 設置目的

○使用言語を問わず、駅をご利用いただくお客さまへの円滑なご案内のため

○聴覚障がいのあるお客さまへのご案内など、さまざまな場面で起こる「聞こえない、聞こえづらい」という課題の解消のため

5. システムの特徴

○窓口で、駅係員とお客さまの音声をリアルタイムにスクリーンに字幕表示できる点

○7種類（設定により日本語から外国語133種類）に上る、翻訳言語に対応している点

○スクリーン越しに会話することで、双方が顔を見てコミュニケーションをとれるという点

6. お問い合わせ

相鉄お客様センター 電話 045-319-2111

平日 9:00~19:00、土・休日 9:00~17:00



「字幕表示システム」（同時翻訳）